

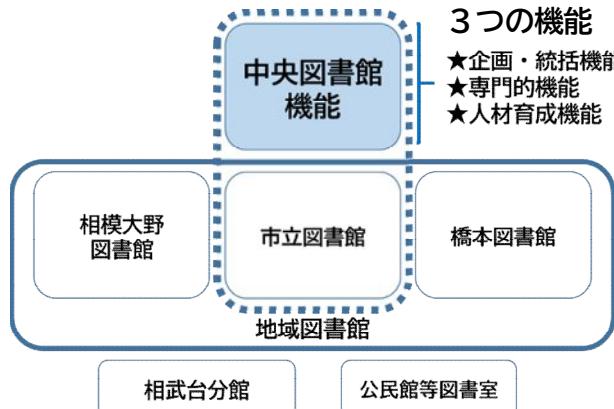
相模原市立図書館は、 中央図書館機能基本方針を策定しました！



中央図書館機能とは？

各図書館や図書室全体を取りまとめ、図書館サービスの向上を図る、本市図書館全体の司令塔の役割となる機能です。

市立図書館（中央区鹿沼台）が、従来の地域図書館の役割に加え、その機能を担います。



基本方針とは？

令和2年度策定の「第2次相模原市図書館基本計画」（以下「第2次計画」といいます。）で定めた施策の方向「中央図書館機能の確立・充実」に基づき、第2次計画の様々な施策を推進する上で重要な運営基盤となる中央図書館機能の取組を具体化した方針です。

（令和6年2月策定）

取組と効果

第2次計画では、現施設において実現可能な中央図書館機能の充実にも取り組むこととしており、現在の運営体制においても一部の施策を実施していますが、今後は、基本方針に基づき3つの機能の確立・充実に向けた各取組を進めます。

◎企画・統括機能

主な取組	期待される効果の例
図書館サービスが行き届いていない地域への取組の検討・実施	サービスが受けられる場所を増やします！（返却ポスト、貸出口ッカー等）
ICTの活用による新たなサービスの企画・推進	帰りが遅くても本が借りられます！
蔵書構築の総合的コントロール	埋もれていた良書に出合えます！
蔵書の保有権の改定	シナジー効率化

◎専門的機能

主な取組	期待される効果の例
レファレンスサービスの充実	図書館のプロ集団が、しっかりサポート！
地域図書館等への支援の実施	どの図書館でも同じサービスが受けられます！
蔵書の改定	小分け・中合えます！

※基本方針本編から主な取組を抜粋

◎人材育成機能

主な取組	期待される効果の例
専門的人材の確保	
図書館職員研修の充実	専門のスタッフが高度なサポート！
体系的な研修による人材育成	

新たな蔵書構築

中央図書館機能及び各施設の役割に応じた蔵書構築の方針を定め、本市全体でより効果的な蔵書構築を行うことで、市民の多様なニーズに応え、図書館を主体的な学びに活用できるような幅広い蔵書の活用・充実を目指します。

●過去に学ぶ

過去の出来事、読み継がれてきた作品、本市の歩み、体系化された知識など、これまで蓄積してきた知識や情報、文化から学びを得る

- 蔵書の長期的な価値を見極めて適切に保存（「古い」蔵書も活用）
- 展示等により蔵書の価値を伝える機会を促進

●現在を豊かにする

めまぐるしく変化する時代の中で学びを続け、豊かな人生を過ごすための新たな知見や最新の情報を得る

- 市民ニーズや、地域課題等から推測されるニーズに応え、鮮度の高い蔵書を提供
- 電子書籍など、それぞれの読みたい気持ちに応える新たな取組を推進

●未来につなぐ

真に必要な蔵書を将来に継承し、未来の市民の学びを支える

- 現在の蔵書の利用状況を分析・評価し、選書に反映
- 適切な選書と除籍による更新サイクルを重ね、必要な蔵書を将来に継承

新たな役割

第2次計画策定後の社会情勢の変化や、図書館に関する政策等の動向を踏まえ、読書バリアフリーや社会的包摂の視点など、誰もが知識や情報にアクセスし、主体的に学ぶことができる機会の充実を図ります。



基本方針はこちら！

基本方針本編



基本方針概要



図書館ホームページ



※PDFファイルが開きます

相模原市立図書館